

平成25年第4回（6月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

学校教育においては、第2次瀬戸内市総合計画に掲げる「子どもが楽しく学び成長を実感できるまち」の実現に向け、各施策の充実を図っていきます。

今年度は、日々の授業改善を柱に、子どもたちの学習意欲の向上を目指します。そのために、NPO法人の「体験型科学教育研究所」に委託し、児童・生徒が主体となる体験型授業を導入していきます。現在、研修日程の調整中ですが、著名な数学者の秋山仁先生の講演会も予定しています。

次に、就学前教育の推進を図るため、保育園、幼稚園、小学校の連携を進めていきます。本年度は、「学びのスキル」と「基本的生活習慣」共通カリキュラムを保育園、幼稚園でそれぞれ試行し、効果を検証しながら修正・改善を行います。その内容は、間もなく市のホームページでご覧いただける予定です。

続いて、学校教育と社会教育が連携した取組として、地域の方々に学校の応援団になっていただく「学校支援地域本部事業」を、今年は今城小学校と美和小学校に設置するとともに、市内学校への一層の推進をしていきます。ボランティアの登録数も順調に増加しており、保護者同士の人間関係を深め、地域を挙げて子どもたちを見守り育てる気運を高めていきたいと思えます。

一方、社会教育においては、新瀬戸内市立図書館の整備開館に向けた

取組を進めるとともに、図書館・室を含めたサービス機能の強化や読書振興及び利用促進につながる学習機会の提供を行っていきたいと思います。

また、大学や企業、教育機関等と連携し、幅広い学習機会の提供や生涯にわたって学び続けることのできる環境づくりとスポーツ・文化の振興を図っていきたいと思います。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 平成24年度末 公立小中学校教職員人事異動について

24年度末の教職員異動数は、玉津小学校の廃校に伴い昨年度末より多くなりました。転出・退任者の総合計は47名で、そのうち郡市を超えた異動者は、校長2名、教頭4名、教諭25名、養護教諭1名、事務職員4名の36名でした。本年度も、郡市間の人事交流が一層進みました。

特徴としては、退職者数が年々増えてきており、24年度末の内訳は、定年退職2名、勸奨退職5名、普通退職1名の8名でした。その対応として、玉津小学校からの異動、また、県外での現職教諭を含む8名の新規採用者の配置を行いました。

新たな取組として、理科教育推進のため、邑久地区の小学校に中学校理科教員を1名配置し、3小学校の理科の授業を担当します。

平成25年度末に向けての課題としては、昨年度同様に教職員の男女比及び年齢バランスの改善を図ることと、退職者数の増加への対応があります。県と連携し、適切な人事異動を行っていきたいと考えています。

○ 北海道幌加内中学校と牛窓中学校との交流について

瀬戸内市と姉妹縁組を結んでいる北海道幌加内町から、今年も5月

17日に幌加内中学校の3年生14名と引率の教諭3名が修学旅行で牛窓中学校を訪問し、牛窓中学校の生徒会役員とレクリエーションや合唱で交流し、お互いの学校紹介などを行いました。また教育委員会を表敬訪問し、教育長へのメッセージや合唱の披露を行い、その後、美術館の見学も行いました。

しかし、この交流事業については幌加内町の意向により、本年度をもって終了することになりました。教育委員会としましては誠に残念なことでありますが、今後、新たな交流の在り方について検討していきたいと考えています。

○ 実践的防災教育総合支援事業について

東日本大震災を踏まえ、教職員や児童園児の防災に対する意識の向上を図り、安全を確保するため、防災に関する指導方法の開発・普及、地域の防災関係機関との連携体制の構築・強化を目的とした実践的防災教育総合支援事業を実施します。

実施校は津波発生時、大きな影響を受けることが想定される牛窓東小学校と牛窓東幼稚園とし、教職員に対する研修の実施、緊急地震速報器の設置とそれを活用した避難訓練方法の開発、保護者との引渡し訓練等を行う予定です。

なお、この事業に係る経費については補正予算に計上していますので、よろしく申し上げます。

○ 備前長船刀剣博物館の夏季特別展について

備前長船刀剣博物館では平成23年度から毎年夏休み期間に合わせて

若者向けの刀剣展を開催しています。今年も7月13日から9月16日まで、「二次元 VS (バーサス) 日本刀展」を開催する予定です。

展示内容は、著名な漫画家やクリエイター（作家、イラストレーター、漫画家、造形家、映画監督）の方に、現代刀匠が制作した日本刀をモチーフにして、キャラクターやストーリーを創作していただき、絵と日本刀を合わせて展示するものです。

参加してくださるのは、作家の小池一夫氏や、漫画家の高橋留美子氏を筆頭に約30名のクリエイターの方々です。

企画の目的は、国内外で日本文化を象徴する日本刀と漫画などが融合することによって、日本刀文化をより身近に、より大切に伝承していきたいということです。

そのためにも、若者に影響力のある多くのクリエイターに参加していただくことで、まず発信者の方々に日本刀を知っていただき、その表現力で若者にも広めていただこうと考えています。

また、同時に林原美術館、瀬戸内市立美術館と合同開催することで、来館者の市や県内での滞在時間をより増やそうとするものでもあります。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

美術館では、4月12日から5月26日まで、「著名人がつむぐ100歳の詩人 柴田トヨ『くじけないで』展」を開催しました。

92歳から新聞の詩^{うた}の投稿欄へ投稿を始め、98歳で詩集「くじけないで」を出版し、やさしさがあふれ人々に勇気と感動を与えた柴田トヨさんの詩を、片岡鶴太郎、市川團十郎、佐久間良子ら各界の著名人36人が揮毫した作品約80点を展示し、期間中に予想を上回る6,000人を

超える来館がありました。

7月20日から9月1日まで夏休み企画として、展覧会「イヌの記憶」を開催します。本展は「犬」をテーマに掲げ、岡山県内外の若手美術作家8名の立体や写真などを展示し、子どもから大人まで幅広く楽しんでもらえる企画展です。

○ 新図書館整備状況と図書館・室の取組

新図書館につきましては、5月10日に開催された臨時議会において、設計委託料を含む補正予算を可決いただいたことから、新瀬戸内市立図書館設計業務プロポーザルの事務手続に係る公告をさせていただいたところでは、

来る6月29日の第1次審査会において、企画提案書提出者の中から5者に絞り、第2次審査会を、7月14日に公開により実施し、同日中に企画提案の最優秀者を決定します。

なお、設計委託契約を8月初旬には締結し、平成25年度内に基本及び実施設計等を完了させる計画です。

○ チャレンジデー2013の開催について

5月29日に開催した『チャレンジデー2013 INせとうち』では、市民の皆様のご理解とご協力を得て、目標としていた市の人口の55%、22,000人を達成しました。最終の参加人数は22,361人、参加率は57.2%となりました。今後チャレンジデーをきっかけとして、各地域や職場・学校などにおいて運動習慣が身につく、スポーツを通じて健やかに暮らせるまちを目指していきます。さらに社会体育施設

や地域公民館・コミュニティセンターなどでの、市民の健康づくりにつながる多くの行事や教室などを充実し、NPO法人瀬戸内市体育協会とともに取組を進めていくこととしています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成25年6月17日

瀬戸内市教育委員会

教育長 藤原 一成